

Autumn Event Digest 2009

first volume

みふねの秋を探しに
出かけてみました。



Photo / 刈り取った稲を順番に脱穀機と千歯にかける児童たち



Photo / 「地元の人が稲刈りを親切に教えてくれて楽しかった」と話していた神志平くん(滝川・左)と山本耕平くん(同・右)

10/9 若宮神社例大祭

若宮神社(辺田見)で秋の例大祭「通門」が行われ、御船町中心部を太鼓や三味線の音にあわせて約100人の神幸行列が練り歩きました。「通門」は、1732(享保17)年の御船川大洪水で、同神社の御神体が犬淵(嘉島町)まで流された際、氏子たちが行列をつくり迎えに行ったことが起こりとされる伝統行事。沿道には「通門」を一目見ようと詰めかけた見物客から、盛んな拍手が送られていました。



Photo / 鉢巻き、たすき掛けの着物をまとい通門の先頭で太鼓を打ち鳴らす吉澤千咲さん(辺田見・左)と成瀬香織さん(御船・右)



Photo / 第2明星学園田代福祉センターの山崎雅之園長(小坂・左)や職員、利用者も祭りに参加。「(田代福祉センターも)2年目を迎え、これからも(田代西部)地域の方と長い付き合いをしていきたい」と話し、2曲を熱唱された山崎園長

10/20・21 御船小稲刈り体験

御船小学校(芥川公明校長、355人)の5年生64人が20日、横田幸子さん(辺田見)の田んぼ約0.3㍓で稲刈りと脱穀作業を体験しました。県農業共済組合の協力で脱穀機と千歯を借用して、刈り取った稲の穀粒を穂から取り外す昔ながらの手作業に汗を流しました。

また、同小3年生55人が21日、田端幸治さん(田代)の田んぼ約25㍓で「吉無田水源交流米」と名付けられた稲を収穫。地元住民たち約50人が参加して、稲刈りの手ほどきをしながら児童との交流を図りました。



Photo / 田代西部地区の元気クラブも参加して「われらの人生これからだ」などを大合唱。町内の元気クラブで最高齢の高松ミチ子さん(田代・前列右4人目)も熱唱されて、参加者全員に元気を送った

10/25 美緑のむら里祭り

第7回美緑のむら里祭り(北田代公民館主催)が田代西部福祉センターで開かれ、地域住民など約200人が演芸を堪能しました。七滝中央小学校児童や北星連などの太鼓をオープニングに、歌、ものまね、寸劇、漫才などの演芸22種目が披露されて、会場の笑いを誘っていました。このほか、九州補助犬協会(福岡県)の桜井昭生副理事長と九州で初の介助犬を目指すレイク(3歳)の実演も行われ、社会福祉への認識を深めていました。



Photo / 小学校時代の懐かしい思い出をスライド写真で語る高木小学校卒業生の8人

10/25 高木公民館祭り

第2回高木ふれあい祭り(高木公民館、高木区長会主催)が高木小学校体育館で開かれ、多くの地域住民などが多彩なステージを楽しみました。発表は、琴や舞踊、カラオケなど全15種目で、最も会場を沸かせたのは、「谷川先生と教え子たち」の寸劇。高木小の平成11年度卒業生(31人)の豊住和幸さん(高木・22歳)たち8人と、元担任の谷川裕明教諭(熊本市・42歳)が連絡を取り合い祭りに特別出演。学生時代の思い出写真にエピソードを織り交ぜながら解説。先生と教え子の変わらぬ絆と、大人に成長した高木っ子にひととき大きな拍手が送られていました。

10/16 小坂小5年稲刈り体験

小坂小学校(丹生幸人校長、167人)の5年生39人が本田幸子さん(豊秋)の田んぼ約0.7㍓で稲刈りを体験しました。横一列に並び、専用のかまを使って稲を束ねて刈り取った後、コンバインで脱穀作業を行いました。古澤怜奈さん(豊秋)は、「稲刈りは初めて。みんなで植えた苗を収穫できて嬉しかった」と話していました。



Photo / 収穫を体験した小坂小5年の児童たち(左)。手際よく稲を刈り取る緒方遥菜さん(陣・右)

10/15 中原神社例大祭

中原神社(田代)で秋の例大祭が行われ、多くの地域住民が参加しました。この祭りは、五穀豊穡に感謝し、100年以上続く伝統行事。郷土芸能のひとつにも数えられる肥後神楽を野田弘さん(田代)による「新選の舞」が披露されたほか、グラウンドゴルフやゲートボール、カラオケ、子ども相撲なども行われて、境内にはにぎやかな声が響いていました。



Photo / お参りに訪れた七滝中央小の児童たちに健康を祈願する「願始」を舞う野田弘さん(右)

